

平成 2 1 年度 実施事業	事務事業名 登別漁港維持管理事業補助金
-------------------	----------------------------

区分	番号	名 称
章	3	大地に根ざしたたくましい産業が躍動するまち
節	2	自然を活かした産業の育成
施策	1	特色ある農業・漁業の推進
小分類	5	時代に即した漁業生産の基盤づくり
主要な施策	3	漁港の整備促進
事務事業番号	001	事務事業コード 32153001 事業開始年度 昭和 4 4 年度 事業終了年度 平成 - 年度

会計種別 一般会計	予算書上の事務事業名 登別漁港維持管理事業補助金
-----------	--------------------------

部 名 観光経済部	グループ名 農林水産 G
-----------	--------------

統合前または名称変更前の事業名

事務事業の目的と成果

対象	(何を対象にまたは誰を対象にした事務事業なのかを具体的に記載ください) 漁業者・市民
手 段 (事 業 の 内 容 ・ 活 動)	(目指す姿を実現するためにどのような手法で行うのか、事業の内容を具体的に記載ください) 北海道より、前年度漁港利用料の18%相当が北海道権限委譲事務交付金として交付を受けており、これを財源とし登別漁港の維持管理経費(港内照明灯電気代等)の一部を助成する。 事業内容 照明灯電気代、道路側溝蓋補修、清掃活動、除雪等
目 指 す 姿 (成 果)	(事務事業を実施することでどのような状態にしたいのか具体的に記載ください) 漁港は水産物の陸揚げ・流通の拠点であるとともに、自然体験型余暇空間や海洋性レクリエーションの場、また、海の体験学習の場として、漁業者をはじめ、地域住民等が利用する地域社会の核としての役割を担っている。漁港内施設の維持管理及び環境整備の実施により、快適で安全な漁業活動の場や地域住民と来訪者の交流、情報交換の場を確保する。
根 拠 法 令 等	(事業を実施する際、根拠となる法令・条例・規則・要綱等の名称をすべて記載ください) 登別市水産業振興対策事業補助規則

指標の推移

区 分		単位	区分	21年度 実績	22年度 目標	23年度 目標	24年度 目標	25年度 目標
成果 指標	漁港愛護活動(漁港清掃・花壇整備)	回	目標値	3	3	3	3	3
			実績値	6				
	漁港を利用した都市交流(朝市・夕市・漁港まつり)	回	目標値	2	4	4	4	4
			実績値	4				

事業費の推移

区 分			単位	21年度 決算	22年度 当初予算	23年度 見込	24年度 見込	25年度 見込	23～25年度 合計
事業 の 財 源 内 訳	国庫支出金	名称	千円						0
	道支出金	名称 北海道権限委譲事務交付金	千円	319	312	299	299	299	897
	地方債	名称	千円						0
	その他	名称	千円						0
	一般財源	名称	千円						0
合 計				319	312	299	299	299	897
(参考) 上記事業を実施する上で 必要となる人件費			職 員	千円	66	69			
			嘱 託 員	千円	0	0			
			臨時職員	千円	0	0			
			合 計		66	69			

担当グループによる事務事業評価の内容

1. 事務事業の妥当性について			
今後も市が事業 主体として実施 していくことは 妥当ですか？	→	妥当である 妥当ではない	→ 妥当である理 由、妥当では ない理由は何で すか？
必要最小限の維持補修や事故防止対策等の照明 は必要不可欠である。			
2. 事務事業の成果について			
成果はあがって いますか？	→	成果があがっている どちらかといえばあ がっている 成果があがらない	→ 成果があがって いる理由、あが らない理由は何 んですか？
漁港の照明については、年々、遊漁者の利用が 増大しており、特に秋さけ釣りシーズンには昼 夜を問わず港に人が多く集まっている。釣り人 の海中転落や停泊中の漁船にいたずら等の防止 に不可欠である。			
3. 事務事業の成果向上について			
成果を向上させ ることはできま すか？	→	大きく向上させるこ とができる 少し向上させるこ とができる 向上させることはで きない	→ どのようにして 向上させます か？ 向上させること ができない理由 は何ですか？
快適で安全な場を確保するため、漁協女性部や 漁港利用者、地域住民等の協力で漁港清掃や花 壇の整備など行われ、環境整備の輪が大きくな りつつあり、これらを更に推進することで、よ り快適な場を確保することが出来る。			
4. 事務事業の経済性・効率性について			
成果を落とさず にコスト（予算 や人工、所要時 間）を削減する ことはできます か？	→	削減できる 削減できない	→ どのような方法 でコストを削減 しますか？ 削減できない理 由は何ですか？
北海道権限委譲事務交付金を財源としており、 必要最少限（経費の一部）の補助となっている。			

担当グループによる評価

維 持	左記の評価 を選択した 具体的な理 由（根拠）	快適で安全な漁業活動の場や地域住民の交流の場としての登別漁港を維持していく上 で、必要最小限の維持補修や事故防止対策等の照明は必要不可欠である。
-----	----------------------------------	---

総合的な評価（当該事務事業の方向性）

維 持	備考
-----	----

評価の種類

- 拡大（事務事業の規模や経費を拡大し、これまで以上に強力に推進する事務事業）
- 維持（現状の対象や目指す姿、手段などに変更が無く、今後も実施する事務事業）
- 改善（現状の手段や経費などを見直し、成果指標の向上等を行う必要がある事務事業）
- 休止（暫定的に休止する事務事業）
- 終了（当初から決められていた事業期間が終了または成果品等が完成し、目的を果たした事務事業）
- 廃止（当該事務事業の予定を変更し、廃止する事務事業）